

都立荻窪高校に通う外国ルーツの生徒たちの 日本語教室のボランティア募集

場所：都立荻窪高校 1階食堂

JR・東京メトロの荻窪駅から徒歩5分、住所 杉並区荻窪 5-7-20

時間：平日 13時～18時（ご都合の良い時間のみの参加で結構です）

内容：日本語検定試験（JLPT）の資格取得を目指した自主授業の補助

荻窪駅南口にある都立荻窪高校は「荻高は、誰も置き去りにしない」をスローガンに掲げる三部制の昼夜間定時制高校で、発達障害や身体障害、不登校、困窮家庭など、いろいろな困難を抱えた生徒たちを受け入れています。

その中に、外国ルーツの生徒たちが30名以上おり、友達とおしの会話はできても、日本語の読み書きが十分にできない生徒が大部分です。

これでは、高校の授業にもついて行けず、卒業後の進学、就職、在留資格にも影響します。

そこで、これらに有利になる日本語検定試験（JLPT）の資格の取得を目指した自主授業を平日の13時-18時の間に設けています。

生徒たちは、この日本語教室に来て、英語や中国語で説明の書かれたドリルをやっています。各自のレベルに合わせた内容ですが、一番、基礎的な教材では、ひらがなやカタカナを書くところから始まって、文章を否定型にしたり、疑問形にしたり、と、学習を進めていきます。

生徒一人一人を、よく把握していて、個別の対応方法を考えてくれる先生と複数の日本語の先生がいますが、生徒が多くて手が回らないので、ボランティアの手伝いが必要です。

ボランティアのやることは、生徒のやったドリルに解答集を見ながら○付けをすることで、○×についての質問などは、日本語の先生が対応してくれます。

ただ、ドリルの○付けの他に、親しくなったら生徒と無駄話をして、目上の大人との話し方を身に着けさせたり、いろいろ相談事に載ってやったりも、望まれています。

長い時間やっていると嫌になる生徒と一緒にトランプをやったりして遊ぶこともあり、のんびりして、面白い時間が過ごせると思います。

全くの無償ですが、高校の5階にある図書室で新刊本など（マンガもあり）を借りられます。

また、平日の13時-18時という長時間のため、暇のある時に可能な時間だけ参加していただける方に、ボランティアをお願いします。

生徒がサボって来ない場合は、自宅などに帰るなど、高校の近くにお住まいの方は、大歓迎です。

まず、日本語教室の様子を、一度、見に来てみてください。

外国ルーツの子ども達を支援する荻窪の会

代表 檜枝 事務局 加藤 連絡先 03-6795-6800（加藤会計）kat@cpakat.jp